

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
子宮体癌 ペムブロリズマブ・レンバチニブ併用療法(3週毎)		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1	① 生食50mL(プライミング用) ② 生食50mL+キイトルーダ200mg 0.2~5μmインラインフィルター使用。 調製後6時間以内に投与完了。 希釈後の濃度は1~10mg/mL ③ 生食50mL(フラッシュ用)		
d1-21	レンビマ 20mg 1日1回		
コメント	診療科登録制(リスト参照)。 d1-21にレンビマ 1回20mg1日1回内服。		

プロトコールに関する解説
<p>本療法は、がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発子宮体癌において、有効性が示された治療法です。KEYNOTE-775/309試験において、既存の化学療法(ドキソルビシン単剤療法またはパクリタキセル単剤療法)に比べ、優れた治療成績が示され、進行・再発子宮体癌の新しい標準治療となっています。悪心や高血圧、甲状腺機能低下症などの副作用が出ることがあります。副作用が強い場合は、減量や減薬、休薬などの調整が必要になることがあります。</p>